

2025年1月28日

日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

営業利益・経常利益は減益も政策保有株式縮減の実施により四半期純利益(親会社株主帰属)は増益。
通期連結業績予想は直近予想を据置。株主還元の更なる充実のため、自己株式の取得及び消却を決定。

[2025年3月期第3四半期連結累計期間決算]

売上高	6,474億41百万円	(前年同期比 99.5%)
営業利益	394億70百万円	(前年同期比 94.2%)
経常利益	419億40百万円	(前年同期比 96.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	305億38百万円	(前年同期比 103.5%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2025年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、国内製粉事業における輸入小麦の政府売渡価格引き下げに伴う小麦粉価格改定や健康食品事業の出荷減等により、6,474億41百万円(前年同期比99.5%)となりました。利益面では、海外製粉事業の業績は堅調に推移したものの、各事業における原材料費や輸送費、労務費等のコスト上昇の継続、及び健康食品事業の出荷減等により、営業利益は394億70百万円(前年同期比94.2%)、経常利益は419億40百万円(前年同期比96.8%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益を計上したことにより、305億38百万円(前年同期比103.5%)となりました。

[2025年3月期通期連結業績予想]

2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は8,700億円(前期比101.4%)、営業利益は510億円(前期比106.7%)、経常利益は530億円(前期比106.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は390億円(前期比122.9%)と、昨年10月30日に公表した業績予想を据え置いております。

また、2025年3月期の配当につきましても、昨年10月30日に公表した通り、1株当たり年間55円(前期より10円増額)を予定しております。これにより、実質的に12期連続の増配となる予定です。

[資本政策の進捗について]

■自己株式の取得と消却を決定

株主還元の更なる充実と資本効率の向上、経営環境を踏まえた資本政策を遂行するため、株式の取得価額の総額154億円、株式の取得総数7,700,000株を上限とする自己株式の取得(自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による)を行うとともに、自己株式の消却を実施します。詳細につきましては、本日公表の「自己株式取得および自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けならびに自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。

■政策保有株式の順調な縮減

政策保有株式の縮減目標(2024年度から2028年度の5年間、年平均80億円程度)達成に向け、政策保有株式の縮減を実施しております。今後も更なる政策保有株式縮減に取り組んでまいります。

以上